

(3) 道路・公共交通網整備

① 道路整備（幹線道路）について

② 公共交通網整備について

① 道路整備（幹線道路）について

(3) 道路・公共交通網 — ①道路整備 (幹線道路) について —

主要な幹線道路が**渋滞** ⇒ 交差する道路の車の流れが悪くなり, **渋滞**



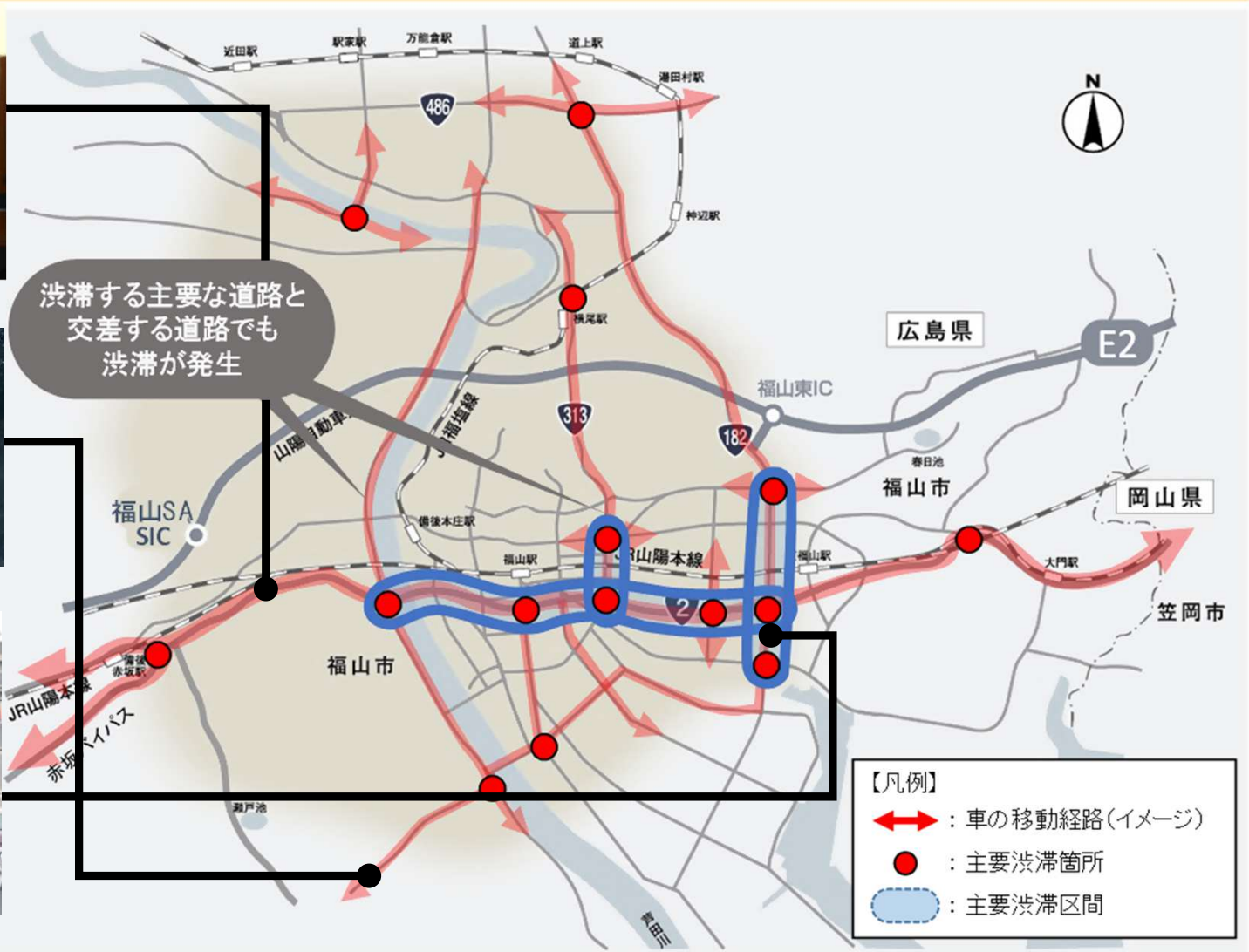
国道2号(佐波町)の渋滞



(主)福山沼隈線(瀬戸町)の渋滞



入江大橋周辺(東手城町)の渋滞



【問題】

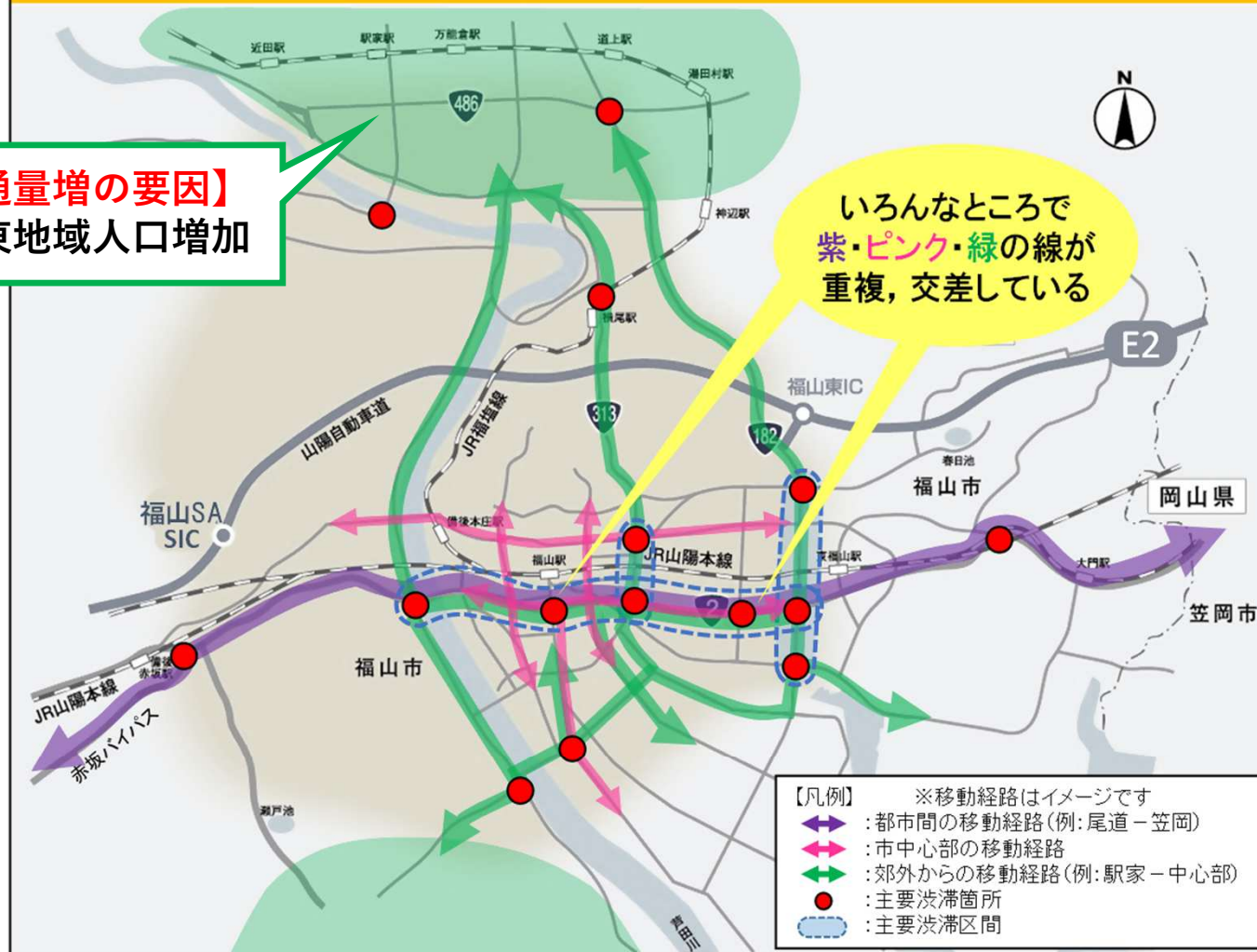
幹線道路の慢性的な交通渋滞により、**物流機能や生活利便性の低下**が懸念される。

(3) 道路・公共交通網 — ①道路整備（幹線道路）について —

様々な移動が入り乱れる現在の道路事情

【南北交通量増の要因】
北部・北東地域人口増加

いろんなところで
紫・ピンク・緑の線が
重複、交差している



異なる移動(紫, ピンク, 緑)が重複・交差することで...

- ①交通が集中し, 交通量が増加
- ②交差点で車の流れが悪くなる

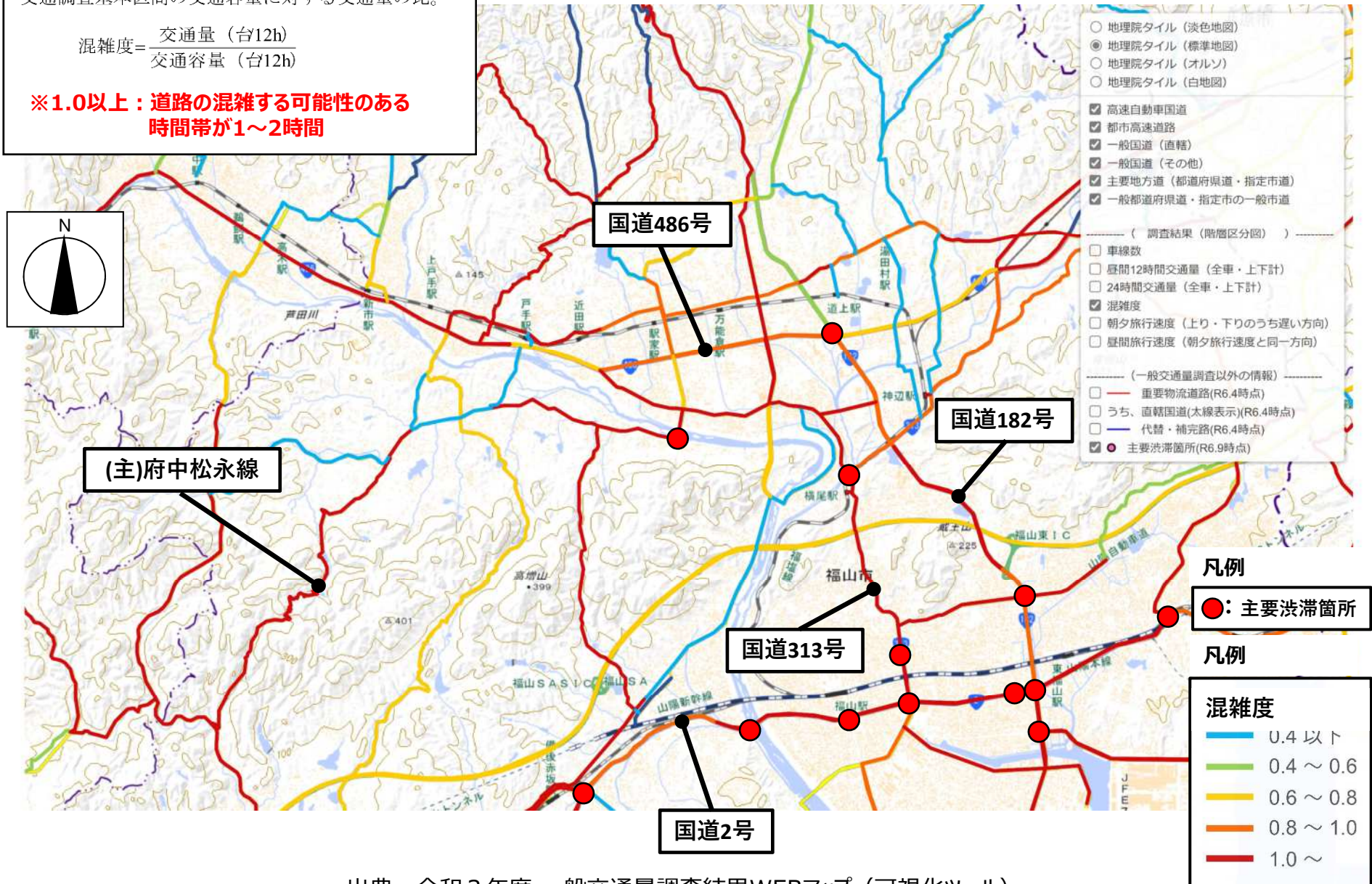
(3) 道路・公共交通網 — ①道路整備（幹線道路）について —

【混雑度】

交通調査基本区間の交通容量に対する交通量の比。

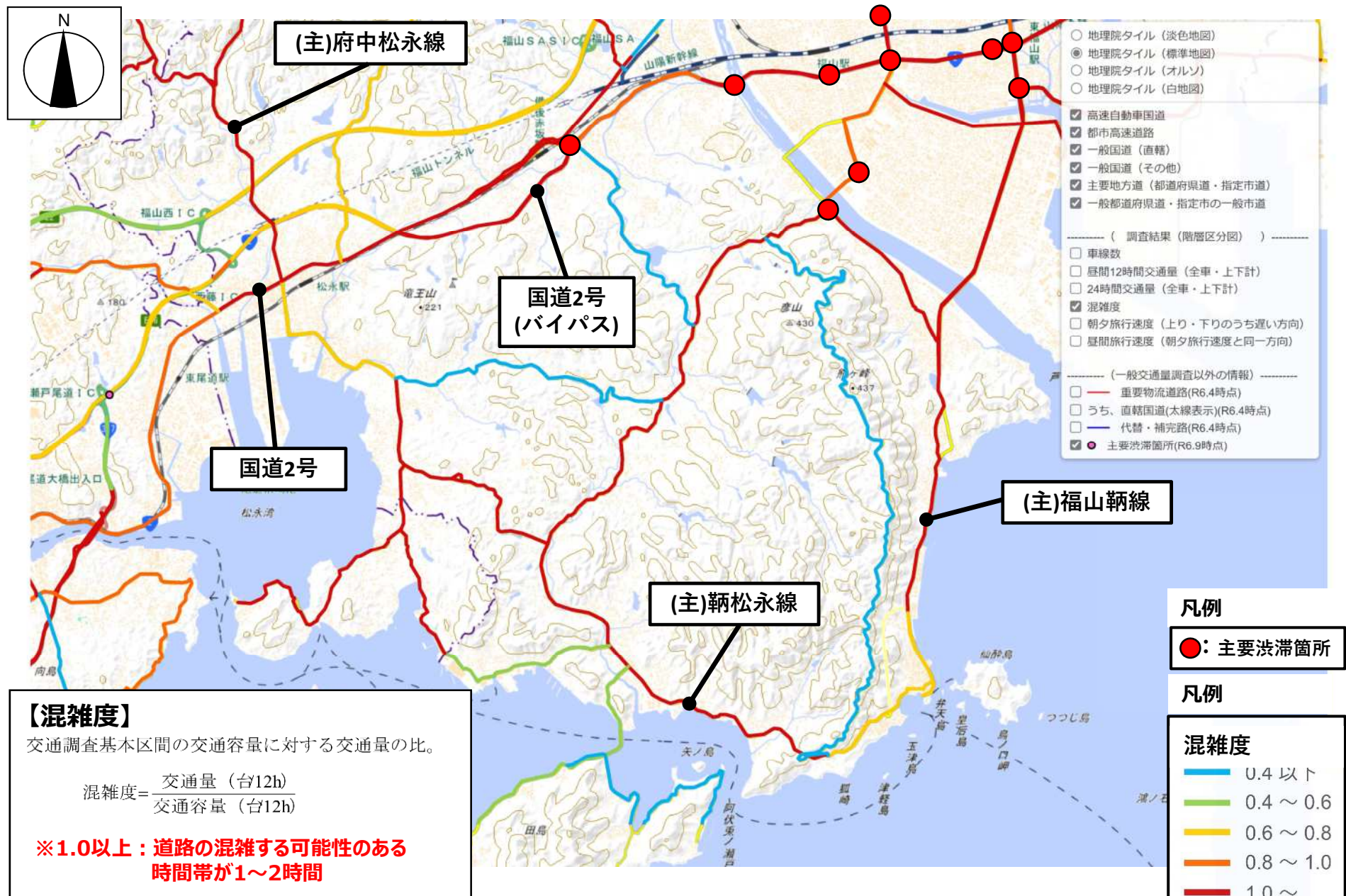
$$\text{混雑度} = \frac{\text{交通量（台12h）}}{\text{交通容量（台12h）}}$$

※1.0以上：道路の混雑する可能性のある
時間帯が1～2時間



出典：令和3年度 一般交通量調査結果WEBマップ（可視化ツール）

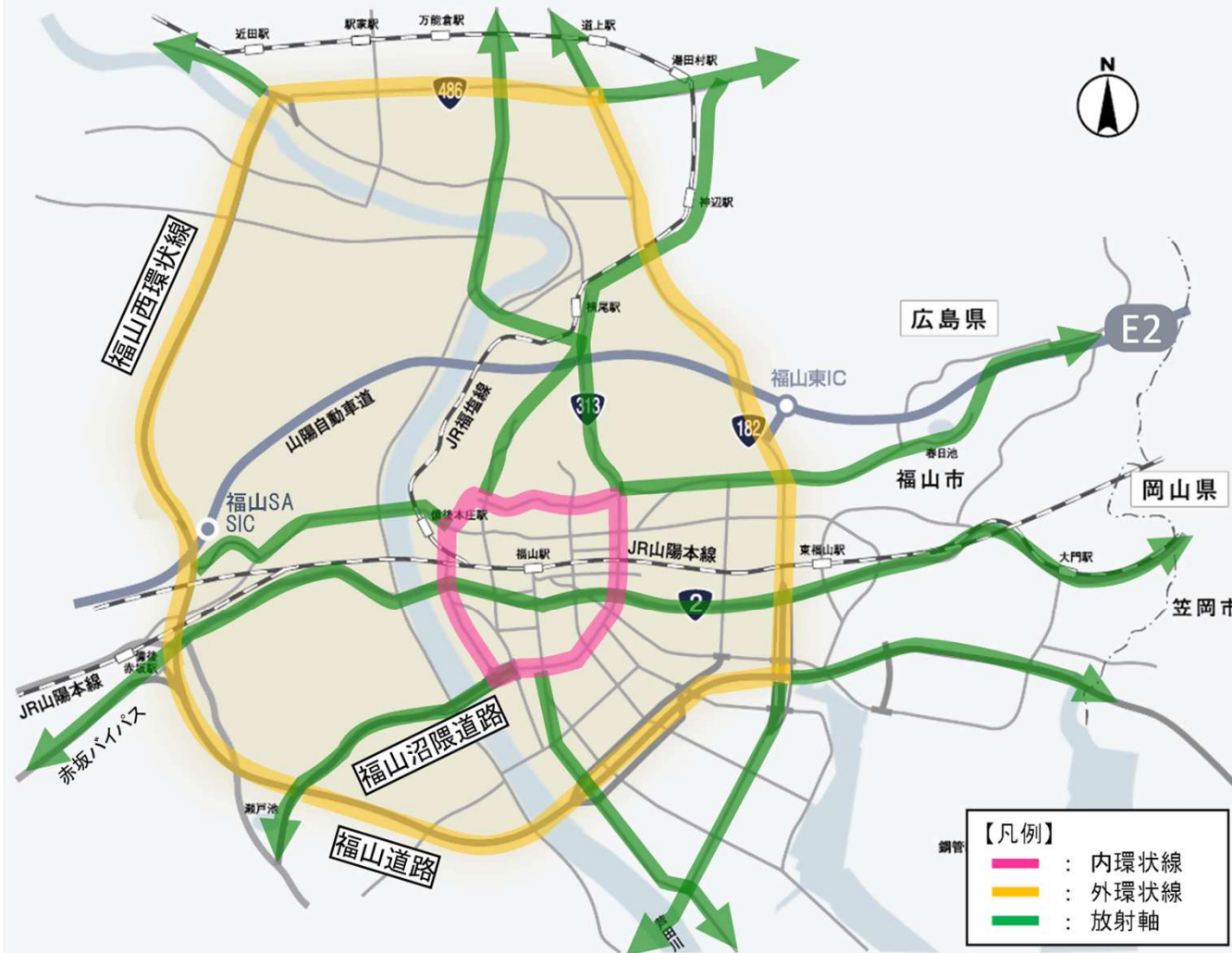
(3) 道路・公共交通網 — ①道路整備（幹線道路）について —



出典：令和3年度 一般交通量調査結果WEBマップ（可視化ツール）

(3) 道路・公共交通網 — ①道路整備（幹線道路）について —

放射・環状型幹線道路網



【課題】

- 広域道路網を活かした都市間連携
- 渋滞解決に向けたアクセス改善

【道路整備の方針】

(幹線道路)

- コンパクト・プラス・ネットワークに資する道路網整備
- 広域的な交流・連携の推進、企業の生産性向上に資する広域交通ネットワークの形成



放射・環状型の道路網整備

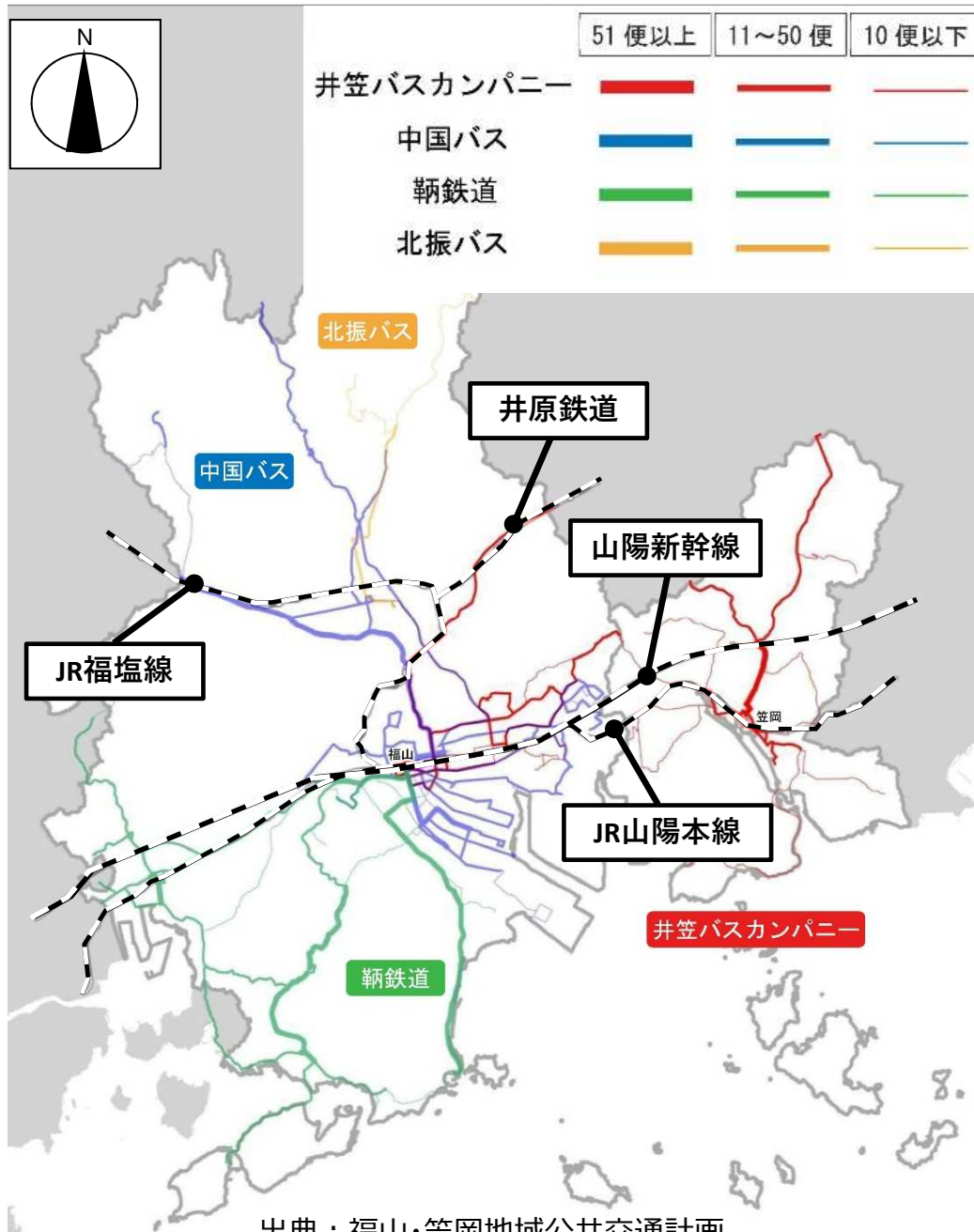
- ▼ 内環状線 : 中心部の移動
- ▼ 外環状線 : 郊外の移動
- ▼ 放射軸 : ①内環状線と外環状線を結ぶ
②外環状線と郊外地域を結ぶ

【放射・環状型の道路網整備による効果】

内環状線・外環状線・放射軸それぞれの道路を移動目的ごとに選択することができるようになるため、これまで重複・交差していた交通を分離することに繋がる。

② 公共交通網整備について

(3) 道路・公共交通網 — ②公共交通網整備について —



○鉄道の運行状況

JR 山陽本線の運行本数は、岡山方面が50本、広島方面が46本（平日、上下平均）と多く、幹線交通としての機能を果たしている。

JR 福塩線の運行本数は、上下平均30本（平日）

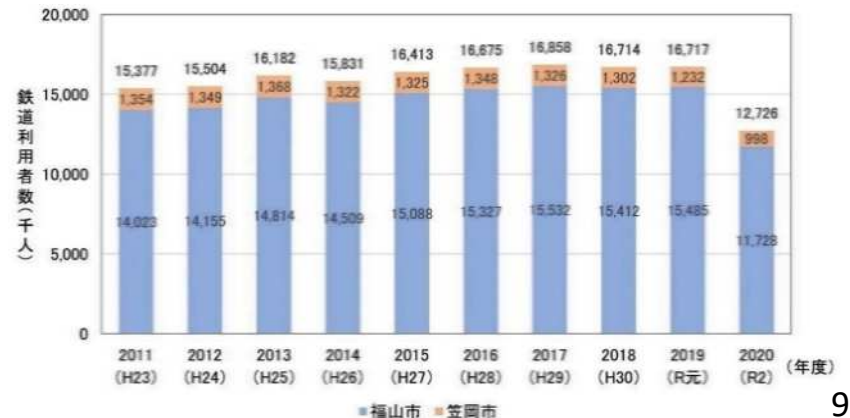
井原鉄道は、神辺駅と井原市方面を連絡する鉄道であり、

運行本数は上下平均26本（平日）

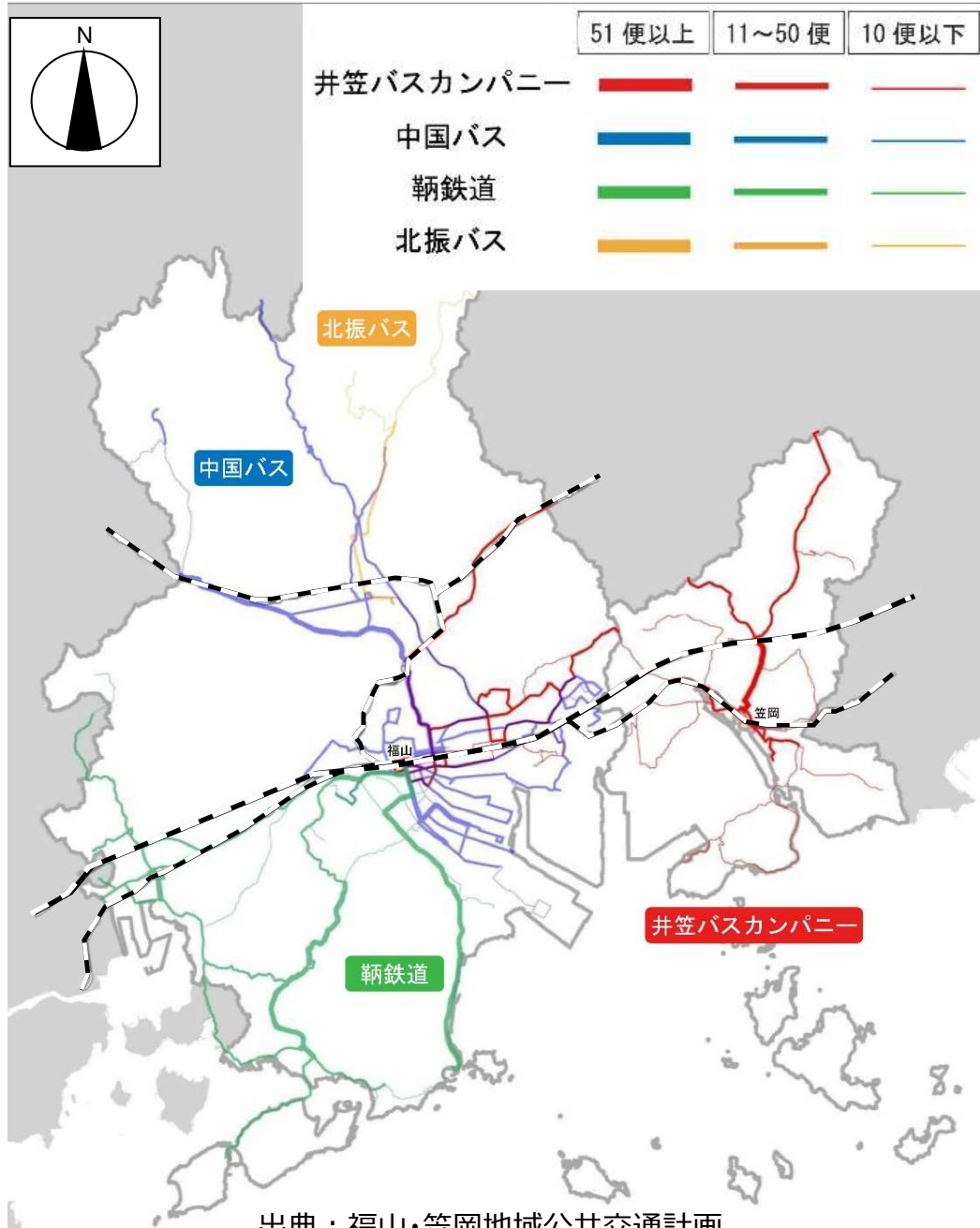
※往復とも3本が福山駅まで乗り入れ

○鉄道の利用状況

近年は微増～横ばいで推移していたが、2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響で大幅に減少



(3) 道路・公共交通網 — ②公共交通網整備について —



出典：福山・笠岡地域公共交通計画

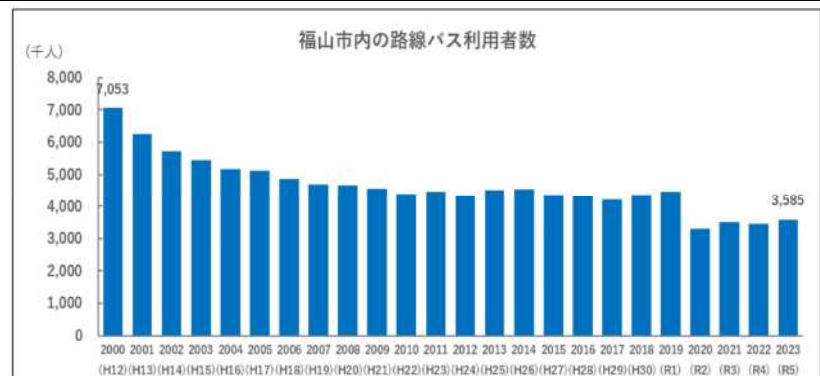
○路線バスの運行状況

複数の交通事業者が連携する形で、地域内のほぼ全域を網羅する路線バスのネットワークが形成されている。



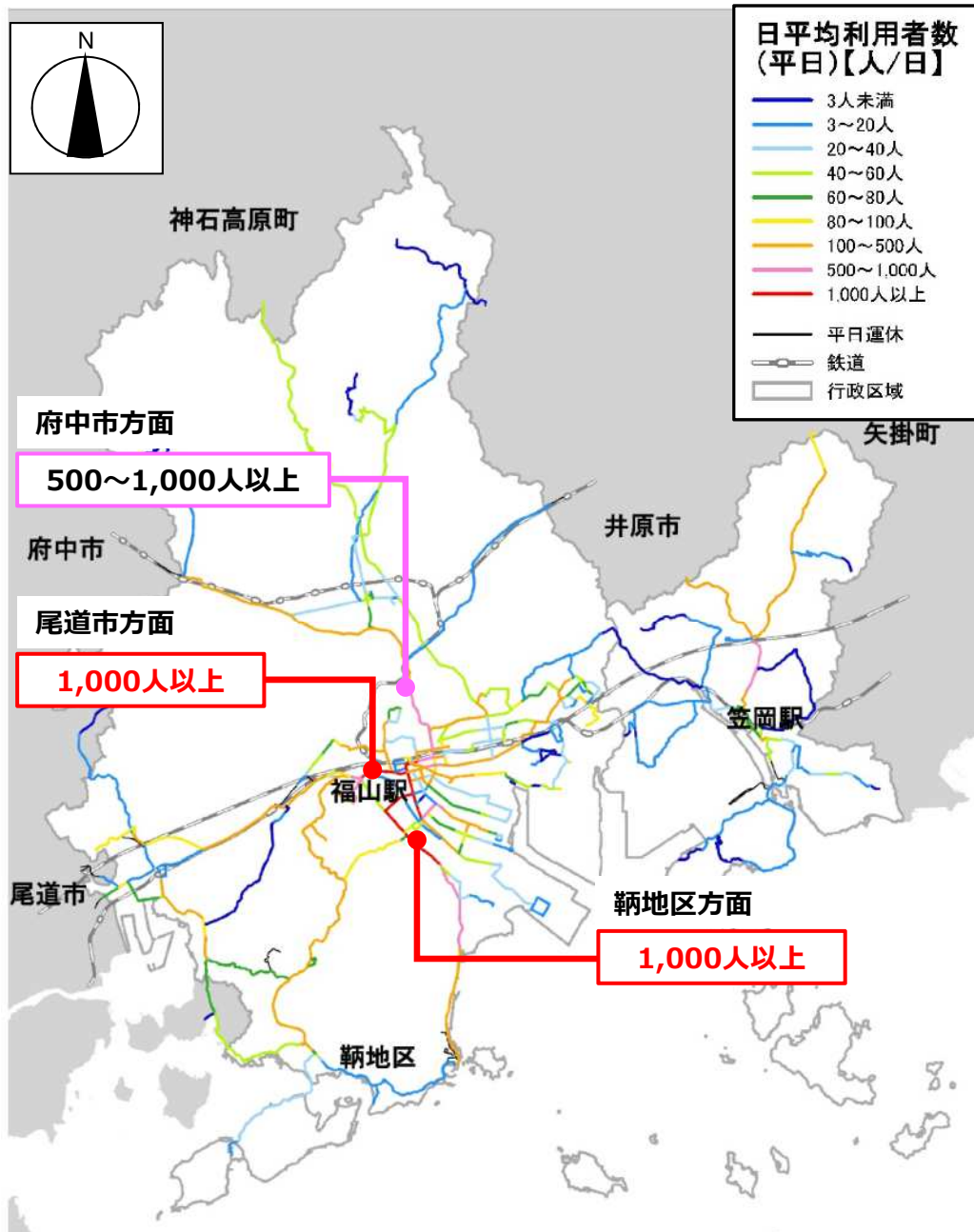
○路線バスの利用状況

近年は横ばいで推移していたが、2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響で大幅に減少し、その後やや持ち直している。



出典：バス共創プラットフォーム 第1回委員会資料

(3) 道路・公共交通網 — ②公共交通網整備について —



○路線バスの利用実態(平日)は、
福山駅から鞆地区方面、尾道市
方面、府中市方面への利用が多い。

○市民アンケートの結果
・通勤手段は約8割が自家用車
・通学手段は、自転車 (37%)
JR (30%)

通勤手段

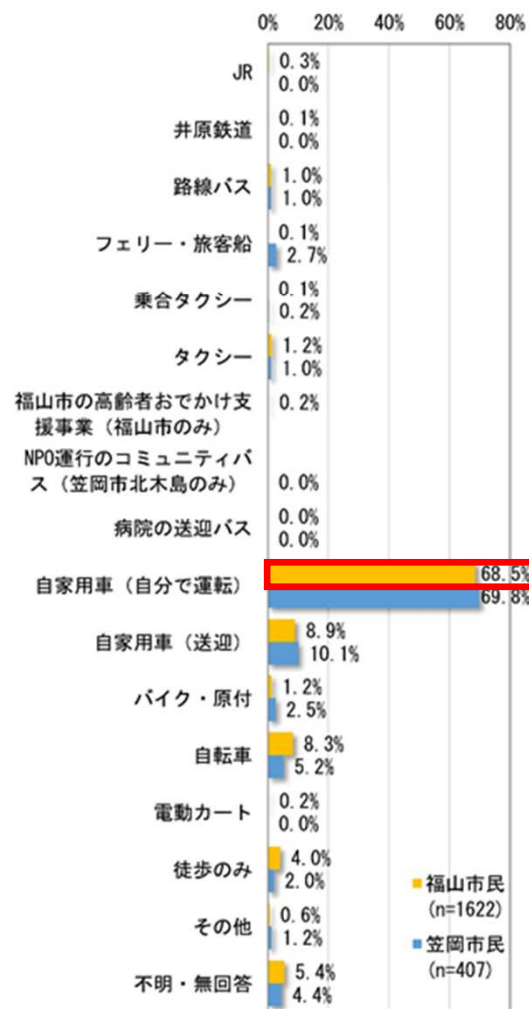


通学手段

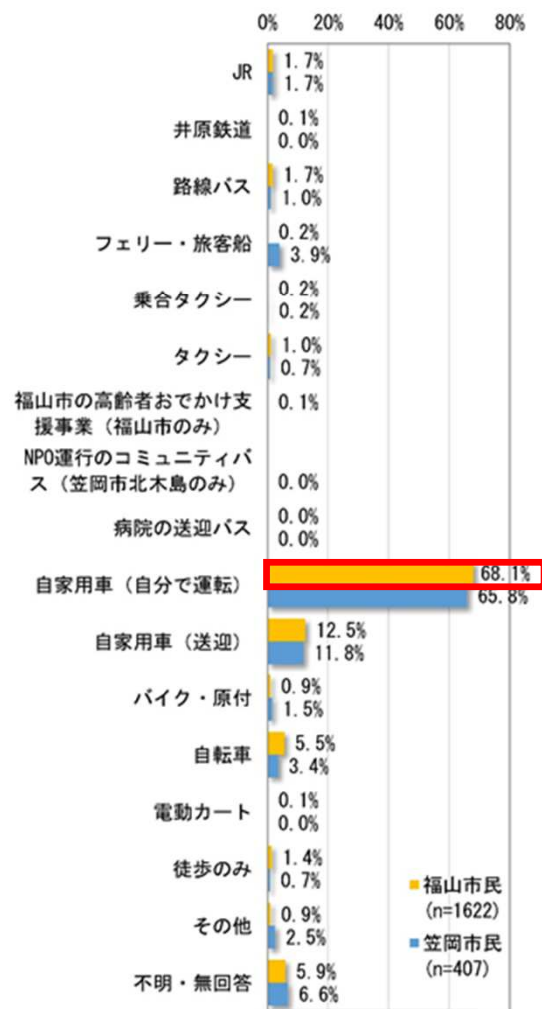


(3) 道路・公共交通網 — ②公共交通網整備について —

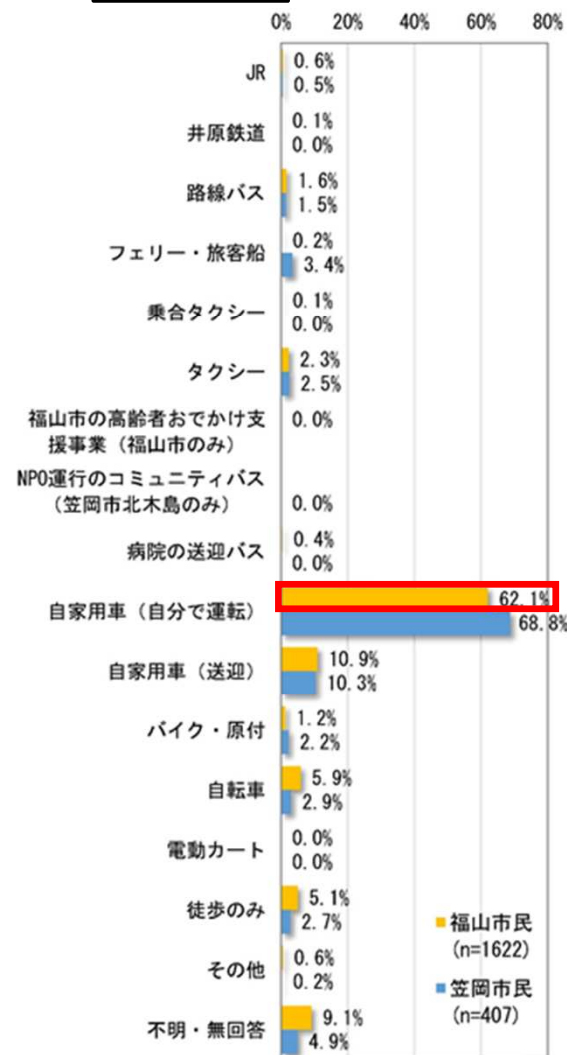
食料品などの日常品の買物



衣料品などの買物



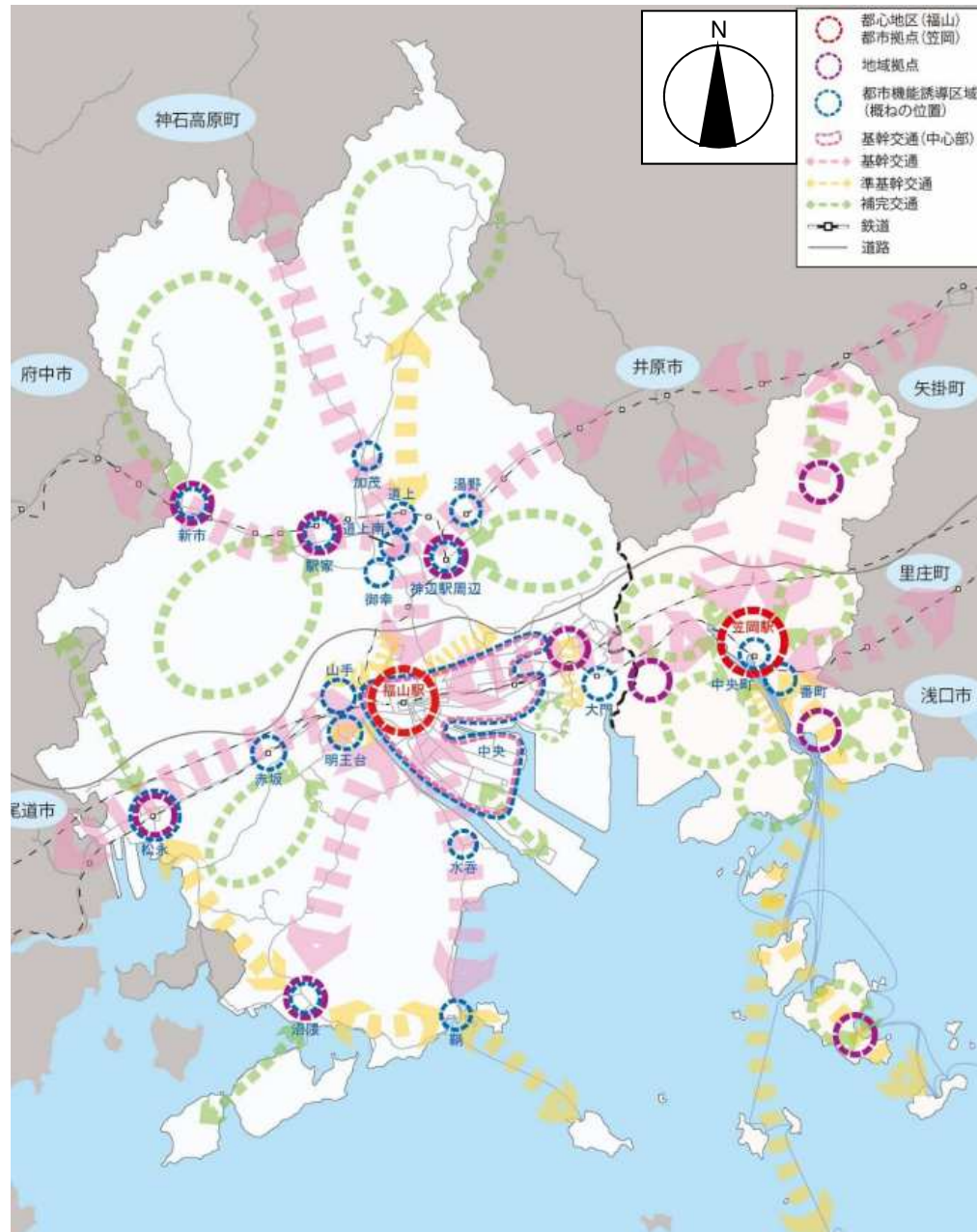
通院



出典：福山・笠岡地域公共交通計画

○食料品・衣料品などの買物・通院の移動は、**約7割**が自家用車を利用している。

(3) 道路・公共交通網 — ②公共交通網整備について —



出典：福山・笠岡地域公共交通計画

【問題】

- 公共交通利用者数の減少
- 交通事業者の経営悪化
- 乗務員の担い手不足
- 公共交通の利便性の低下
- 高齢者等の移動困難者の増加

負のスパイラル

【課題】

- 実効性のある利用促進策の推進
- まちづくりと一体となった持続可能なネットワークの構築

【公共交通網整備の方針】

- 拠点間の連絡や区域内の施設へのアクセス等ができる利便性の高い地域公共交通ネットワークを形成するため、その機能・役割を担う交通モードを適材適所に配置する。

・基幹交通

(都市間・拠点間・中心部)

・準基幹交通 (拠点間)

・補完交通 (地域内)

(3) 道路・公共交通網整備の論点

20年後を見据えた

最重要論点

道路・公共交通網整備の方針についてどう思いますか？

○放射・環状型の道路網整備

○利便性の高い地域公共交通ネットワークを形成

※基幹交通

都市間路線バス・鉄道
拠点間路線バス・鉄道
中心部路線バス

・準基幹交通

拠点間路線バス・航路

・補完交通

地域内路線バス
地域内乗合タクシー
地域内タクシー
地域内自家用旅客有償運送

の充実